

# 新型コロナウイルス感染拡大／各単組のとりくみ NO.5

2020年4月28日 大生連事務局

連日のご奮闘に心から敬意を表します。

4月20日から26日の動き。生活保護利用者の10万円の特別給付金は収入認定されないことが明らかになり、各単組には喜びの声が寄せられています。同時に「どうやって手続きをすればいい」という問い合わせも相次いでいます。生活相談では生活保護、小口資金などの貸し付け相談が相次いでいます。

電話での安否確認を計画する単組がふえています。ぜひ全単組での対応をお願いします。

## (大阪市内)

**浪速** 生活保護の相談は連日ある。ピラは班を中心に配布している。相談は以下の通り。月・火・水が相談日（これを書いたピラを区内に配布）。生活保護支給日に区役所前でピラをまく予定。

- ①これまで相談がなかった通天閣の高層マンションから、70代の男性：「仕事がなくなった。年金が少ない。生活ができない」と相談、転居もふくめて生活保護で対応。
- ②50代男性：非正規、雇止め、「生活保護できるか」と事務所へ。生活保護を申請。
- ③水商売をしていた女性：店を廃業した、そちらに相談に行きたいと電話あり。
- ④母子世帯：収入減った。（マンションの）家賃が払えない。電話相談。生活保護もふくめて対応する。

**港** ピラは役員が手分けしてまいている。引き続き、集金している人、新聞を配達する人にも持ち帰ってもらい、家の周りにまいてもらっている。10万円の特別給付金が収入認定されず、「よかった」と喜びの電話が、生活保護を利用している会員から相次いでいる。また一人暮らしの高齢者からは「早く、家から出たい、ノイローゼになりそう」と電話があり、激励している。

**大正** 特別給付金の収入認定はされないことが分かり、次々と喜びの電話がある。同時に「どんなしで申請すればええんや」との問い合わせが相次ぎ、その対応に追われている。連休明けから給付金の申請が始まるだろう。そうなるとう事務所に会員が「申請方法を教えて欲しい」と殺到する可能性がある。コロナに気をつけて対応をしていく。

**此花** 電話で給付金の問い合わせが多い。店を閉めた、大阪府の50万円の給付金はどうしたらもらえるのかの電話での相談があった（大阪府は休業した店に対し50万円を給付する）。ピラは4000枚まいた。

**西淀川** ピラは600枚を配布。特別給付金の問い合わせ（申請手続きなど）が殺到。これに忙殺されている。区役所の生活保護申請は簡素化されて、スムーズになった。コロナのときだけでなく、日常的にそうすべきだ。 そのように要望していく必要がある。

**淀川** 連休前後を含め、役員が手分けして全会員への電話かけを計画する。

**旭** ピラは7500枚まいた。「安倍さんは『10万円を出す、出す』と言いながら、いつ出すんや」などの電話がかかってくる。「マスクも（配布が）遅い、国にハガキで『早よせえ』と言わなあかん」という声もあった。50代男性からサラ金の相談があった。70代後半の女性からヤミ金の相談もあった。いずれも生活苦から借りた。弁護士を紹介。

**鶴見** 国は給付金を出すのが遅すぎる、という声が上がっている。ピラは5人で1000枚まいた。  
40代男性：退院してきたが、まだ仕事ができる体調ではない、働く場所もないと相談。生活保護申請。

**城東** ピラ200枚まいた。給付金が収入認定されないことがわかり、生活保護を利用している会員から「よかったなあ」と喜びの電話が相次ぐ。市営住宅の家賃減免の相談あり、対応。会員への安否確認の電話かけを役員会で相談する。

**平野** ピラは5000枚まいた。生活相談は以下の通り。

- ①30代男性、単身世帯：派遣労働者、解雇された、貯えなし、生活できない、生活保護申請。
- ②60代女性、母子世帯：息子（成人）は引きこもり、「あたしが死んだら」とあとのことが心配。生活相談では市営住宅の家賃減免の申請をする。
- ③40代男性：店を経営していたが肝硬変で廃業、コロナが怖い、生活保護申請。
- ④70代夫婦：クリーニング店を経営していたが、客が激減、借金あり、住居は土地付きの家、生活保護を申請したが、リバースモーゲージにならないか心配。自己破産も検討。
- ⑤50代後半の刑務所から出所したばかりの男性：生活できないと相談、生活保護申請。

## （衛星都市）

**門真守口** ピラは計画中。役員会で会員の安否確認の電話の手分けを相談する。

**寝屋川** 5月の連休明けに駅前宣伝する（ピラ配布とハンドマイク宣伝）。生活相談は以下の通り。

- ①50代男性、単身世帯：**3年前にまいたピラをもって相談**。失業保険が切れ、仕事が見つからない。手持ち金ゼロ。生活保護を申請。
- ②50代夫婦、中学生の子1人：夫が失業した。妻のパート収入のみ（約8万円）。家のローン有り。ともかく生活保護申請。家のローンについてはこれから対応していく。

**枚方交野** ピラ配布は各班で計画。特別給付金の問い合わせの電話が連日かかってくる。枚方市と交野市にコロナ関連で要望書を提出した。生活相談は以下の通り。

- ①生活保護利用者が府営住宅に当選した。福祉事務所に「引っ越し費用を出して欲しい」と言ったが、「出せない」と言われた。会に相談、交渉、引っ越し費用が出る。
- ②70代男性：理髪店を経営、肺ガンになった。年金は月5万5千円。借金あり。債務整理を弁護士に依頼。生活保護申請も検討。
- ③建設労働者：病気入院、日雇いなので賃金入らず、医療費が払えない。家賃も払えない。**生活困窮者自立支援の住宅支援給付制度**を申請。医療費は小口生活資金で対応。病状によっては生活保護も検討。

**岸和田** ピラ4000枚を配布。相談会を開いた。市に国民健康保険の要望書を提出（①保険料引き下げ、②保険料減免基準引き上げ、③**傷病手当の創設**など）。他団体と共に**就学奨励金（＝就学援助）の交渉をした。市は認定基準を引き上げると回答**。

**東大阪** 社協などがやっている貸付相談とその手続きが多い。貸付の申請手続きは手間がかかる。<sup>はんざつ</sup>煩雑。

**八尾** ピラ配布200枚。税申告が2件あった（うち還付申告が1件）。

**柏原** ビラ 1300 枚まいた。税申告が続いている。国民健康保険の傷病手当の創設については、市は検討していると回答。「収入が減った、今の住宅の家賃が高くて払うのがしんどい」と府営住宅の申し込みの相談あり。

**羽曳野・藤井寺** 30代男性：コロナ禍で仕事がなくなると相談あり、生活困窮者自立支援の住宅支援給付制度を活用。

**堺** コロナに気をつけて定例の相談会を開いている。引き続き会員への電話かけを、役員が手分けしてやっている。「一人でいたら、ノイローゼになりそうや、ようかけてくれた」「あんた（役員）の声をきいて、元気になった。またかけてきて」「10万円（給付金）が収入認定されへんのやて、ほんまに嬉しいわ」などの声がよせられた。こうした声をニュースに書いて会員に返す。

### **堺市は国民健康保険の傷病手当を作った！！**

集金・配達活動参加のみなさん、役員・事務局のみなさんへ

毎週の「守る新聞」の配達、会費集金の活動に参加されているみなさん、役員・事務局のみなさん、コロナ禍のもとでの活動に心から敬意を表します。

この間の活動では、安否確認や激励の電話かけが、会員のみなさんから喜ばれています。役員が手分けをして、会員宅への電話かけが大切な活動になっています。とくに一人暮らしの会員、高齢の会員への電話をお願いします。電話かけでは、**①安否確認をし、②会員の困りごとや要求をつかんでいただくようお願いします。**

会員の要求は電話で解決できることは、その場で対応し、市への要望など、電話での対応が難しいときは役員会で相談して対応しましょう。会員の要求は大生連に結集をしてください。大阪府・大阪市で対応しなければならない要求は大生連役員会で検討します。どうかコロナウイルスに気をつけて活動を、かさねてお願いします。

2020年4月28日大生連事務局